

2025年5月30日

2024年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 中学生無料学習支援教室（分かった会）
代表者・役職名 氏名 奈良勝行（代表）

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクトの名称

小平西地区地域ネットワーク 中学生無料学習支援教室(分かった会)

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。 会員数など。180文字程度まで)

2012年、白梅学園大学が大学周辺の小平市内のNPO、ボランティア団体や個人に呼びかけて「小平西地区地域ネットワーク」を設立しました。それを踏まえて小平西地域の子どもたちの学習を支援するために2013年12月に本会を立ち上げました。講師はボランティアとして参加し、小平市教育委員会の後援を受けながら会場使用などで公民館を使っています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

学習に困難を抱えている子どもたち、とりわけ中学生は高校への進路を目の前にして苦労している様子が伝わってきました。何とかしなければという声が小平西地区地域ネットワークの懇談会などで寄せられ、学習支援の場を設定することが求められました。大学教員と地域住民で構成される地域世話人会で話し合い、学習会を立ち上げることになりました。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

毎週木曜日の午後6時から8時まで、市立公民館で中学生10数人を対象に、講師10人がほぼ個別に主要5教科の学習指導を行っています。生徒からの授業料徴収はなく、講師も無償で指導しています。また9月から翌年2月末まで、中学校3年生を対象に、毎週火曜日にも高校受験のための学習指導を実施しています。毎年3月に5人～8人の中学生が本会を修了し、全員が都立高校や私立高校の入学試験に合格して進学しています。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

2013年からスタートして2024年末で500回を超えるようになりました。参加中学生の数も100名を越えています。短い生徒で1年間、中学校1年からだと3年間通い、分からぬところを聞くことによって学習への意欲が高まり、全員が高校への進学という形に結実しています。スタート当時は市内の中学校での学習支援は少なかったが、行政としても中学生の学習支援を行うようになってきています。地域ニュース「小平西のきずな」への報告や懇談会等での報告によって、地域での認知度が高まっています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

中学生は毎年卒業し、新たに迎え入れることが必要です。近隣の中学校にお願いしてチラシを生徒に配布してもらうのですが、そのためには教育委員会の後援名義をとらなければなりません。最近は後援名義が3ヶ月しか出されないので、繰り返し申請が必要です。また講師の募集も市報などは対応できないので公民館などにチラシを置いてもらうことにしています。生徒の募集と講師の募集、この2つを丁寧にやりながら継続できたらと思います。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。

7. 真如苑多摩地域市民活動公募助成 2024 年度「分かった会」参考資料①写真



1対1の学習支援



修了式